

## 新年のご挨拶

(一社) 岩手県障がい者スポーツ協会 名誉会長 (岩手県知事) 達増 拓也



年頭に当たり、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。  
 一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会会員の皆様方におかれましては、日頃から本県の障がい者スポーツの普及・発展に御尽力賜り、厚く御礼申し上げます。  
 昨年、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの大会、イベントが中止・延期され、規模が縮小されるなど、スポーツ界にとっても大きな影響がありました。  
 このような中、関係団体・関係者の皆様におかれましては、感染対策を十分に講じながら、県障がい者スポーツ大会代替大会を始めとした大会、イベントを実施いただいたところであり、深く感謝申し上げます。  
 本年は、東日本大震災津波の発災から10年であり、「復興五輪」と位置付けられている東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。  
 県内においてもオリンピック聖火リレーやパラリンピック聖火フェスティバルのほか、ホストタウンや事前キャンプを通じたオリンピック・パラリンピック選手との交流事業など様々な取組が予定されています。  
 このような取組を通じて、県民の皆様にはスポーツの素晴らしさを身近なものとして実感していただくとともに、障がいのある人もない人も、共にスポーツを楽しむ機会を増やし、誰もが互いを理解・尊重しながら生きる社会の実現を目指してまいります。  
 今後とも、障がい者スポーツを推進する協会の取組に一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員の皆様方の御健勝、御多幸を祈念し、新年の挨拶といたします。

(一社) 岩手県障がい者スポーツ協会 会長 藤井 公博



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年は、コロナ禍により、人類史上において大きな試練の1年だったと言えるのではないのでしょうか。この試練は私たちに様々な課題を示しました。しかし、これらの課題と対峙する中で生まれる「気づき」により、少しずつではありますが、目指すべきゴールの姿が見えてきたようにも思います。  
 さて、障がい当事者にとって、自らを自由に表現できるスポーツや文化活動の機会は重要です。昨年は、多くのイベントが中止になり、この機会が失われることとなりました。国の緊急事態宣言解除後、私たちは、この失われてきた機会を回復すべく、様々な事業を実施してまいりました。その1つにスポーツを通じた共生社会推進の取組みがあります。  
 これまでは、障がいの有無に関わらず、多くの人を集め、連携協力による事業展開をすれば、着実に共生社会実現に近づいていくものと考えていましたが、コロナ禍は、この取組みの弱点を指摘しました。  
 これを打破するための方法。1つは、オンラインの活用です。今年度、オンラインによるeスポーツ事業、スポーツ交流会、リモート講習会等、その有用性を実感することができました。しかし、オンラインは新しい技術ではなく、単に私たちがその便利さに気づいていなかっただけなのです。こう考えると、他にもたくさん「気づき」が埋もれているかもしれません。加えて、オンライン化が進むことにストレスを感じる層も多く、様々な配慮が必要になります。「誰一人取り残さない」ためには、前進するだけでなく、配慮すべき人を忘れずに全体に目を向けること、いわゆる「俯瞰する目」が重要です。これも1つの「気づき」なのかもしれません。  
 何卒、正会員、賛助会員の皆様方、関係する企業・団体の皆様方においては、引き続きご支援をいただくとともに、新たな「気づき」を生み出せるようご教示いただければ幸いです。

### CONTENTS



#### ■特集記事

- P1/新年のご挨拶
- P2~3/岩手県障がい者スポーツ大会の代替大会を開催!
- P4/共生社会型スポーツって何?

#### ■活動報告 (P4~P10)

グラウンドゴルフ花巻交流大会/宮古・田老ゲートボール交流大会  
 2020/一関市&気仙沼市障害者スポーツ協会交流事業/パラスポーツ体験交流会/スポーツフェスティバル2020/第1回卓球バレー指導者養成講習会/岩手県卓球バレー交流大会2020 他

#### ■掲示板 (P11) /事業案内、新規会員紹介 等

#### ■会員紹介 (P12)

### ホームページについて

開催要項、申込書データのダウンロードや詳細情報は当協会のホームページよりご覧ください。

URL → <https://www.iwate-adaptive.or.jp/>



お問合せ先：一般社団法人岩手県障がい者スポーツ協会  
 岩手県障がい者スポーツ指導者協議会  
 岩手県卓球バレー協会

TEL 019-637-5055 / FAX 019-637-7626  
 E-mail : [info@iwate-adaptive.or.jp](mailto:info@iwate-adaptive.or.jp)

県スポとは例年6月第1週土曜日に開催している「岩手県障がい者スポーツ大会」で実施種目は個人競技6種目。本年の第22回大会は新型コロナウイルスの影響により中止となった。

# 県スポの代替大会を開催!

競技性を重視した大会(陸上・水泳・卓球)は初の取組み!



▲左が女子200m、右が男子100m。自己記録で組合せを行うためT20とT70の競い合う場面が多くなりました。最終順位はクラス別で決定。

## 第1回岩手県パラ陸上競技記録会

期日：令和2年10月3日(土)  
会場：日居城野陸上競技場(花巻市)

### \*ジャパンパラリンピックにつながる大会を

例年6月に開催している県障がい者スポーツ大会(以下、県スポ)は、コロナの影響で中止となりました。本記録会は、その代替大会として実施しました。

なお、県スポは、年齢制限はあるものの、健康上問題がなければ競技経験を問わず、誰でも参加できる大会です。それに対して今回は、日常的に競技として陸上競技に取り組んでいる選手を対象に、ジャパンパラリンピックで用いられる競技規則(特にクラス分け)を準用するなど、競技性重視の企画といえます。

これは、本県としては初の試みで、ジャパンパラリンピック等の上位大会を目指す選手たちの目標となる大会となることを期待しています。

今回の参加選手は、若い世代を中心に約70名が参加しました。久しぶりの大会ということで、選手はもろんのこと、先生方が気合十分といった感じでした。

また、自己記録の近い選手同士で競い合った結果、聴覚(T70)、知的(T20)区分が競い合う展開があり、普段のレースとは違う面白さがありました。

### \*企画から開催までの準備

競技性重視の大会は、岩手を含め、まだ取り組んでいない自治体が多いことと思います。

そこで、ここでは企画段階から開催までのお話を含めてお話ししたいと思います。

まず、本県には、幸いにもこれまでの障がい者スポ

ーツに関する取組みの中で特別支援学校との密接な連携関係があります。陸上経験者が多いことも、陸上競技団体との調整を進める上でメリットとなります。岩手陸上競技協会(以下、岩手陸協)との調整も準備段階からお手伝いいただきました。

岩手陸協には日程調整で大変ご苦勞をおかけしました。開催日に東北高校新人陸上と日程が重なっていたのです。

そこで、今回は花巻市陸上競技協会を中心に運営協力いただきました。特に富士大学陸上部監督の佐藤伴行先生には、競技進行から写真判定、記録作成まで大変お世話になりました。また、同校陸上部の皆さんにも補助員としてご協力をいただき、何とか無事に大会を終えることができました。

運営については、この他にも特別支援学校の先生方や岩手県作業療法士会の皆さんなど多くの方々のご協力がありました。この場をお借りして皆様のご協力に感謝申し上げます。

特別支援学校との連携は、全国障害者スポーツ大会派遣や指導者養成事業など、校長会等に事業説明や協力いただきたい内容等を説明する機会を設けることをお勧めします。熱い先生たちが活躍できる場を今後も提供していきたいと思ひます。

### \*今後に向けて

なお、今回の反省を踏まえ、来年度開催に向けて岩手陸協の年間計画の中で調整したいと思います。今後も競技力向上が選手の選択肢の1つとなるよう取り組んでいきたいと考えます。引き続き、皆様のご協力をお願いします!



▲①女子100m(T20/T70クラス)。花巻市陸上競技協会が中心となり、運営協力をいただいた、②左側は梅ちゃんこと梅原祐選手。久しぶりの登場です。右側はT34クラス期待の星、小野寺萌恵選手(盛岡とんなん支援学校)。目指せ!パリパラリンピック!③手前は本県の中距離のエース北村大吾選手(中野製麺)、④受付にて。左から選手の応援に駆け付けた岩手県選手団総監督の及川貞之先生、運営協力をいただいている岩手県作業療法士会の今宮さんと島山さん、当日の看護を担当していただいた高見さん。皆さまのご協力に感謝です!

## 第1回岩手県障がい者オープン卓球大会

期日：令和2年9月22日（日）

会場：一関市総合体育館（一関市）

岩手県卓球協会（以下、県卓協）では障がい者スポーツ委員会を組織しています。この委員会は、2016年希望郷いわて大会開催に向けた運営準備と選手強化を行うにあたり設置されました。競技団体の組織の中に障がい者スポーツ活動支援体制を組み込む例は少なく、本県では岩手県水泳連盟が同様の組織体制を作っています。

本大会は、当初、県卓協の自主事業として行う予定でした。県卓協としての障がい者大会は初開催になります。しかし、6月の県スポを含め、他の大会もすべて中止となる中、今期初の大会開催となるため、県スポの代替大会としての位置づけも加えていただくことになりました。

さて、続いて出場するクラス分けについては、独自にT1（車いす）、T2（立位・身体）、T3（立位・その他）、T5（STT）の4部門。なお、T1と車いす使用、T5は、アイマスク使用により、健常者も参加できることとしました。

エントリーは目標の50名に届きませんでした。各コートにおいて白熱の好試合が展開されました。県外からの強豪選手の参加もあるなど、高い競技性と交流の要素がプラスされた新しい大会形態となりました。今後も県卓協との連携の下、参加選手や関わるスタッフ・ボランティアが広がるような取組みを行いたいと思います。



## 第1回岩手県パラ水泳記録会

期日：令和2年11月1日（日）

会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）

運営の中心は、岩手県水泳連盟が担いました。同連盟には障がい者委員会があり、年間を通して選手強化及び育成事業にご協力いただいています。なお、今回は、岩手マスターズ水泳協会の共催をいただき、マスターズ水泳記録会を兼ねる大会として実施しました。

例年、県スポには全県から60名程度が参加します。今回は、20名程度の参加でした。コロナ禍により、他の大会中止が相次いでいることや2種目エントリーできることから選手にとっては、自分の力を試す良い機会となったと思います。陸上大会同様、今後も県スポとは別枠での大会開催に向け、準備を進めたいと思います。ご協力いただいた岩手県水泳連盟様、岩手マスターズ水泳協会様に感謝申し上げます。また、引き続き大会企画・開催に向けてご支援をお願いいたします。



## 第1回岩手県フライングディスク記録会

期日：令和2年10月25日（日）

会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）

今回の記録会の参加対象は日常的に競技として取り組んできた選手とした。フライングディスクの強化練習は月1回のペースで実施し、毎回20名程度の選手が参加。加えて指導者、スタッフ、保護者など10名程度がディスク拾い等、練習をサポートしながら継続して実施してきた。

また、県スポとは別に開催してきたふれあい交流大会も中止となり、選手をサポートしてきた指導者や保護者の皆さんから、これまで取り組んできた選手に試合の機会を提供したいという声が強くなっている時期でもあった。「とにかく黄色の人たち（審判は黄色のユニフォーム着用）がいる場で記録を取りたい！」というのが今回の開催目的であった。

当日は、16名の選手が参加した。悪天候のため、急遽会場を体育館に変更してアキュラシー5mと7mの2種目を実施した。5mでは10投成功者も出るなど、普段の練習成果が発揮される場面も多かった。記録会后にアトラクションとして10mチャレンジで盛り上がった。来年は晴天の下、思いっきり楽しみたいところである。ご参加いただいた選手の皆さん、引率された職員、保護者の皆さん、そして運営協力をいただいた岩手県障がい者フライングディスク協会の皆様にあらためて感謝を申し上げたい。



▲フライングディスク記録会は雨天により、体育館で実施しました

# 共生社会型スポーツって何？



▲9月5日(土)に行われた『卓球バレー交流事業』より。参加者に注目してください！地元の老人クラブの皆さん(手前)と富士大学の女子バスケットボール部チーム(奥側)が対戦しています。結果は老人クラブチームの圧勝です！年齢も性別も「ごちゃまぜ」でしたが、皆さん和気あいあいと卓球バレーを楽しみました！

## 共生社会型スポーツとは？

共生社会型スポーツ。聞いたことがあるようなないような言葉かもしれません。それでは、ユニバーサルデザインという言葉は聞いたことがありますか。ユニバーサルデザインとは、簡単に言うと「誰もが使いやすいデザイン」です。「誰もが」とは年齢・性別・国籍や文化、そして障がいの有無などに関わらずということになります。卓球バレーやボッチャも、誰もが取り組みやすいスポーツであることから、最近はユニバーサルスポーツと呼ばれるようになりました。

卓球バレーやボッチャが地域で普及していくと、結果として、年齢や性別、障がいのある人もない人も一緒にスポーツを楽しめる環境作りにつながります。そして、このユニバーサルスポーツを地域におけるコミュニティ作りに活用しようとする動きが活発になってきました。このように、ユニバーサルスポーツを共生社会推進のツールとして活用するときに『共生社会型スポーツ』と表現されます。

この『共生社会型スポーツ』は、本県のスポーツ推進計画において、スポーツ推進の施策展開の4本柱のうちの1つに位置付けられています。

事業報告  
-Report-

## 9月～11月の活動報告です

※紙面スペースに限りがありますので、詳細はホームページ「活動報告」をご覧ください。

## 『グラウンドゴルフ花巻交流大会』を開催しました！

◆期日:令和2年9月8日(火)／◆会場:日居城野運動公園(花巻市)  
◆レポート:例年9月に開催している花巻交流大会は秋の気配を感じるものであったが、今年は最高気温が33度と驚くほどの猛暑の中で実施した。幸い会場が木に囲まれ、日陰もあり、早朝から昼までは比較的暑さをしのぐことができた。参加者は、地元花巻に加え、北上、遠野、金ヶ崎、一関などから約60名が集結。今年度最初のグラウンドゴルフを大いに楽しんでいただいた。例年、朝早くからのコースセティングとスコア補助をお願いしている花巻市グラウンドゴルフ協会様に心より感謝を申し上げたい。なお、これまではサポート中心であったが、今回は一緒にプレーを楽しんでいただきながら、時間を共有した。今後も、県内各地のグラウンドゴルフ協会様と連携した事業を企画していきたい。結果は次のとおり。



▲9月で気温33℃！今年は暑かったですね～

男性・個人の部/2G 合計

- 第1位：山崎 武（盛岡市）/41点
- 第2位：沼里 基志（盛岡市）/43点
- 第3位：市橋 義伸（北上市）/45点

女性・個人の部/2G 合計（※2打数）

- 第1位：葛尾 文子（花巻市）/※48点
- 第2位：菊池 敏子（北上市）/※48点
- 第3位：柳沢 キエ（北上市）/49点

団体部門/2G 合計（1チーム5名）

- 第1位：石鳥谷・盛岡/242点
- 第2位：花巻東和/248点
- 第3位：かねがさき/282点



▲①選手宣誓は佐藤崇さん（花巻石鳥谷）、②会場となった日居城野運動公園は元はゴルフ場とのこと。とてもきれいなコースである、③芝生において車いすでのプレーは負担が大きいため必要に応じてサポートする、④この距離を入れるのがなかなか難しいのです！

## 『宮古・田老ゲートボール交流大会2020』を開催しました！

◆期日：令和2年9月16日（水）～17日（木）／◆会場：グリーンピア三陸みやこ（宮古市）

◆レポート：参加チームは7チームであった。コロナ禍の影響で活動を休止しているチームが多く、昨年よりもかなり少な目となった。また、大会前にとっても悲しい知らせがあった。長年に渡り、本県の障がい者スポーツのみならず障がい当事者活動に幅広くご尽力されていた山田町の佐藤多智男さんが急逝された。いつも明るい笑顔でどなたにも優しく、気づかいしてくれる人格者でもあった。何よりこの大会に山田町チームを率いて参加するのを楽しみにされていた。そこで、本大会を急遽、佐藤多智男さんの追悼大会として行うこととした。

大会は7チームによる総当たり戦として、2日間に渡り1チーム6試合の成績により競った。序盤、勝ち星を伸ばしたのが、「龍泉洞」と地元田老の「はまなす」であった。龍泉洞は、初戦の「石鳥谷」に接戦で勝利するとその後もすべて接戦で勝ち星を重ねていった。「はまなす」は他チームを圧倒しながらの全勝キープ。対照的な勝ち進み方であった。そして「はまなす」がついに「石鳥谷」に1点差で敗戦。その後、グリーンピアの佐々木浩さんを助っ人に加えた大井利江さん率いる「種市」にも敗れ、まさかの連敗。最終戦では直接対決で「はまなす」が「龍泉洞」に勝利するものの、5勝1敗の「龍泉洞」には一步及ばず。「龍泉洞」チームは代表の菅原さんの作戦を、選手一人ひとりが忠実に役割をこなしていた。見事なチームワークであった。特に85歳の女性プレーヤーの精度の高いショットは印象的であった。最終順位は以下のとおりである。（ ）は得失点差。同率は得失点差による。

- 第1位：龍泉洞/5勝1敗（+1）、第2位：はまなす/4勝2敗（+36）、第3位：種市/4勝2敗（+8）、
- 第4位：近揚会/3勝3敗（+3）、第5位：石鳥谷/3勝3敗（-5）、第6位：にいさと/2勝4敗（±0）、
- 第7位：東和/0勝6敗（-43）



▲①第1ゲート通過を狙う選手。このおばあちゃんたち、ただモノではない！②洋野町の大井利江さんに指示を出す佐々木浩さん、佐々木さんは、グリーンピアの世界選手権3連覇のメンバーの一人、③宮古福祉会の高橋智さん。審判は花巻石鳥谷チームが務める。ゲートボールの相互審判制は他の競技でも審判不足解消の参考になる。④優勝した龍泉洞チーム

## 一関市&気仙沼市障がい者スポーツ交流事業 第3回卓球バレー交流会を開催！

◆期日：令和2年10月4日（日）／◆会場：藤沢体育館（一関市）

◆レポート：一関市と気仙沼市には障がい者スポーツ協会が設立されている。これは、仙台市など指定都市以外では、珍しいケースである。このことは何度か紹介している。両市ともに卓球バレーに積極的に取り組んでおり、この交流事業は今年度で3回目となった。当初の予定では、9月に気仙沼市を会場に実施する予定であったが、コロナ禍により、開催期日と会場を変更しての実施となった。

参加者は、一関市、気仙沼市の他、大船渡市、盛岡市、花巻市から約70名が参加。このコロナ禍の状況でよく集まったものだ。感染症対策として、卓球バレーは全員がマスク着用でのプレーをしている。また、試合前の手指消毒や各コートにサーキュレーターを設置しながらの実施であった。

なお、今回の内容は体験会ではあったが経験者も多いことから、参加者を9チームに分け、3組×3チームによる交流リーグを行った。将来的には一関市や気仙沼市における地域大会の開催を目指していきたい。なお、日本卓球バレー連盟東ブロックでは震災復興を目的とした沿岸地区での卓球バレーエリアカップを計画中である。



▲①花泉（奥）対気仙沼A（手前）、主審は宮城協会の山内さん、②千厩・室根（左）対気仙沼B（右）、主審は岩手協会の菅野さん

## 『パラスポーツ交流体験会』

◆期日：令和2年10月11日（日）／◆会場：盛岡市立武道館  
 ◆レポート：盛岡市スポーツ協会が指定管理を行うスポーツ施設において、様々な体験教室が開催された。当協会は盛岡市立武道館でのパラスポーツ交流体験として、ポッチャと卓球バレーを担当した。参加者は10名程度だったので最初に卓球バレー、続いて全員でポッチャを行うこととした。ポッチャは、同会場にて武道館スポーツクラブにて4回ほど体験教室を行っていたが、卓球バレーを実施するのは初めてであった。参加者の年齢層は、小学生から高齢者まで、いわゆるお孫さん、お父さん・お母さんにおじいちゃん・おばあちゃんまでである。このようなパラスポーツが地域に広がっていくと障がいのある方々もスポーツに参加する機会が増えていくことであろう。今回、このような企画をしていただいた盛岡市立武道館の皆さんにあらためて感謝を申し上げたい。



▲武道館ではクッション性のある人工畳を導入。これなら柔道の受け身も痛くないかもです！

## 「スポーツフェスティバル2020」

◆期日：令和2年10月11日（日）  
 ◆会場：岩手県勤労身体障がい者体育館（盛岡市）  
 ◆レポート：本事業は岩手県運動公園を指定管理する（公財）岩手県スポーツ振興事業団によるスポーツ交流事業である。当協会は盛岡市青山にあるパラリーナにて卓球バレーの体験教室を担当した。これに加えて、卓球バレーのチーム練習会、審判練習会を同時開催した。参加者は30名ほどで2コートに分かれて、体験会と練習会という形で行った。卓球バレー審判は数あるスポーツの中でも最高難度の技術を要する。特に強豪チームの打ち合いは目でボールを追いつながら、ドリブルやホールディング、タッチネットを見極めるのはかなりの技術が必要である。卓球バレーの普及速度に対応するためには、指導者や審判の育成は急務であり、今後も継続して取り組んでいきたい。



▲審判講習会の様子。強豪チーム同士の試合は、リリーススピードも速く、審判技術を要する。

## 『第1回卓球バレー指導者養成講習会』を開催！

◆期日：令和2年10月17日（土）  
 ◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）  
 ◆レポート：今回は、岩手県作業療法士会との共催事業として実施しました。同会とは、様々な障がい者スポーツ活動に運営協力をいただいております。これは本県の大きな特徴であり、強みとも言えるかもしれません。  
 なお、この資格は日本卓球バレー連盟の公認資格となっている。冒頭では、県内を中心に障がい者スポーツの実施状況と課題、それを解決するツールとなる卓球バレーの活用などを30分ぐらいお話して、残りの時間は実技として行った。最後は強豪チームと受講者チームの練習試合も行うなど、皆さん卓球バレーの楽しさを感じていただけたと思う。



▲長テーブルを使用しているコート作成例。卓球台がない会場もあり、覚えておくと便利です！

## 『岩手県卓球バレー交流大会2020』を開催！

◆期日：令和2年10月18日（日）／◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）  
 ◆レポート：今回は久しぶりの開催となった。各チームにおいても活動休止、活動制限等があり、はたして何チームに参加いただけるか等、不安を抱えながらの開催であったが、チャレンジクラス12、わんこクラス3の15チームが参加した。今回は岩手リハビリテーション学院（以下、岩手リハ）の理学療法学科から4チーム出場した。これは、当協会が担当する同校の体育授業の一環であった。授業では障がい者スポーツの現状、課題、活用方法等をテーマにポッチャ、卓球バレー等を中心に実施してきた。その集大成として、本大会に参加していただいたのである。生徒には選手とスタッフを兼務していただいた。参加チームやスタッフ不足が想定されただけに運営する立場としても心強い存在であった。  
 さて試合の方を見てみよう。岩手リハチームは若手パワー全開と行きたいところだったが、4チームとも1セットも取れずに予選敗戦。当初、もし勝ったらどうしようといった学生たちの心配は無用に終わった。学生たちに、もう少し練習させておけばよかったと反省。最終結果は「アスレクト」が優勝、準優勝は「ISVC」、第3位は「かねがさき」。わんこクラス（交流を目的）の優勝は「しらいと」、準優勝は「杜の小径」、第3位は「まるこ大盛」となった。



▲①決勝はアスレクト（左）対 ISVC（右）、②3位決定戦は花巻B（左）対かねがさき、③わんこクラスの試合の様子、④わんこクラス優勝のしらいとチーム、⑤かねがさきチーム（平均年齢80歳）と対戦する岩手リハチーム、⑥岩手リハチームは敢闘賞受賞！

# 『グラウンドゴルフ一関交流会』を開催！

◆期日：令和2年10月22日（木）／◆会場：一関市サッカー・ラグビー場（一関市）

◆レポート：穏やかな天候の下に開催した一関交流会であった。今回の会場は一関市総合体育館の敷地内にある人工芝の競技場で、駐車場からのアクセス、身障トイレの完備などハード面が充実している。コートもフラットでとてもプレーしやすい競技場である。開催にあたり、一関市障がい者スポーツ協会に調整役を担っていただき、競技運営は一関市グラウンド・ゴルフ協会にお願いすることとなった。協会の皆さんには各組のスコア集計と併せてプレー交流もしていただいた。この会場に、北は八幡平から花巻、北上と地元の一関が中心に集まり、グラウンドゴルフ協会と併せて70名ほどが集まり、赤青コースの16ホールの合計点数にて男性部門、女性部門、団体部門の3つの区分で競いあった。

グラウンドゴルフの愛好者は、年々減少しているものの、一関市内だけでも相当数の大会を実施している。これは一関市だけではなく、大船渡市等、各地域においても同様であるようだ。また、グラウンドゴルフやゲートボールは、障がいのある人もない人も一緒に楽しめる競技である。今後もそれぞれのニーズに応じて交流事業として開催したい。最後になりましたが、当日のコース設営から運営までご協力をいただいた一関市グラウンド・ゴルフ協会の皆様に感謝を申し上げたい。

男性個人の部／合計（同点は2打数）  
第1位：藤井 公博（花巻市）/30点  
第2位：伊東 次夫（平泉町）/40点  
第3位：高橋 孝明（北上市）/40点

女性個人の部／合計（同点は2打数）  
第1位：柳沢 キエ（北上市）/39点  
第2位：富松 ハヤ（金ヶ崎町）/40点  
第3位：小野アヤ子（一関市）/42点

団体部門／合計（1チーム5名）  
第1位：石鳥谷・東和/222点  
第2位：一関・花泉/246点  
第3位：金ヶ崎/248点



▲①選手宣誓は一関市身体障がい者協議会の事務局長である伊藤茂さんです。いつも大変お世話になっております。②一番手前が一関市GG協会です。スコアをつけながら、プレーも一緒に！（脇にクラブを挟んでいます）、③プレー中に声をかけてすみません。笑顔でパチリ。

# 『みんなで楽しもう！ポッチャと卓球バレー』が開催されました！

◆期日：令和2年10月25日（日）／◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）

◆レポート：この事業は、盛岡市手をつなぐ育成会（以下、盛岡市育成会）が主催するレクリエーション教室です。盛岡市育成会では年間を通して、定期的に音楽療法、茶道、軽スポーツ等のプログラムを本人（障がい当事者）と支援者が協働で開催しています。今回は、パラリンピック種目のポッチャとユニバーサルスポーツの代表ともいえる卓球バレーの指導依頼をいただきました。

さて、当日は、本人とご家族など30名以上が参加。ポッチャは、初体験の方もいましたが、すぐにルールを覚え、和気あいあいとゲームを楽しんでいる様子でした。卓球バレーは今回で3度目の実施ということもあり、ルールを覚えている人がいて、ハイレベルな打ち合いも見られました。つい、やってしまう「イスからお尻上げる反則（スタンディングといいます）」は今回、少ないようでした。どちらの種目も皆さん大いに楽しんでいました。特にお母さんたちのパワーに圧倒されました。おかげさまで楽しい時間となりました。また、機会がありましたら、当協会にお声がけください！



▲①開会行事の様子。全体の進行は長葎さんが務めます。②ポッチャの様子、「そりゃ！」、③卓球バレーの様子、「お尻上げないでね〜」

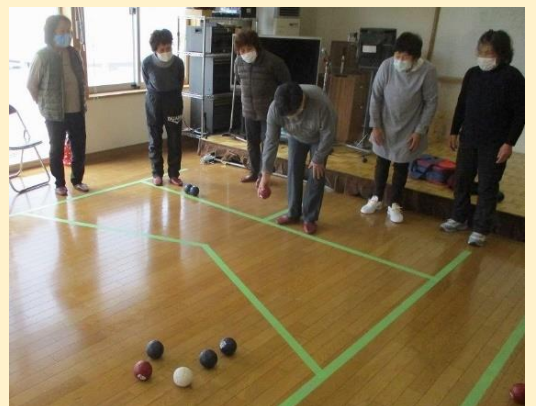
# 『ポッチャ体験教室（生出地区）』

◆期日：令和2年10月29日（木）

◆会場：生出3地区コミュニティセンター（盛岡市）

◆レポート：生出地区において様々な地区活動を担う盛岡市身体障害者協議会の津志田会長から依頼を受け、ポッチャ体験教室を実施した。地域でポッチャが普及することは当協会の優先的な取組みの1つでもある。今後も連携しながらポッチャ普及に努めたい。

さて、会場となったコミュニティセンターの集会室はちょうど良いサイズのミニコートが2面作れた。最初に簡単にルール説明をし、早速ゲームを楽しんでいただいた。組合せを代えながら試合をしているうちに、点取りゲームとして作戦を考える面白さも感じていただけたようだ。今後是非ポッチャを通して地域において障がいのあるなしに関わらずスポーツ交流をしていただきたい。



## 『パラリーナ杯卓球バレー交流大会 2020』

- ◆期日：令和2年11月1日（日）
  - ◆会場：岩手県勤労身体障がい者体育館（愛称：パラリーナ）
  - ◆レポート：本事業は、2017年の岩手県勤労身体障がい者体育館設立40周年記念事業としてスタートした。同体育館の愛称であるパラリーナもだいたい定着してきているように思う。利用者は、身体障がい者だけではなく、知的、精神区分の利用もある。また、地域のスポーツ拠点として障がいのあるなしに関わらずスポーツ機会の提供に貢献している。
- さて、通算4度目となるパラリーナ杯には、7チームが参加した。今回は総当たり戦として1チームにつき6試合を行った。
- 結果はアスレクトが5勝1分けで第1位、4勝1敗1分けの花巻Bが大健闘の2位、アスレクトと引き分けに持ち込んだISVGが3勝3分けで3位となった。今後もパラリーナと連携しながら卓球バレーに取り組んでいきたいと思う。パラリーナの皆様、審判としてご協力いただいた皆様、今回もありがとうございました。



## 「チャレスポおうしゅう 2020」

- ◆期日：令和2年11月8日（日）
- ◆会場：奥州市ふれあいの丘公園全域
- ◆レポート：当協会は、ポッチャと卓球バレーの体験ブースを担当した。奥州市担当者からは、メディアでの広報活動や足を使ってチラシ配布等、周知には力を入れてきたとの報告を受けていた。しかし、どのイベントでも参加者集めには苦労するものである。そんなに人は集まらないだろうと最少人数のスタッフで臨んだところ大失敗だった。次々に来場者があふれ、ブースは常に参加待ちの状態。スタッフ全員が朝から終了まで休憩なしの状態の大盛況ぶりであった。



## 『グラウンド・ゴルフ釜石鵜住居交流大会』を開催！

- ◆期日：令和2年11月10日（火）
  - ◆会場：釜石鵜住居復興スタジアム（釜石市）
  - ◆レポート：「復興スタジアムに行きたい！」からスタート。しかし、同スタジアムにおいてグラウンドゴルフが実施可能なものだろうか？まずは、釜石市に多目的利用実績をお伺いした。その結果、これまではラグビー・サッカー以外の実績はないとのこと。今後の交渉は難航すると思われたが、釜石市の回答は「是非ご利用ください！」との、とてもありがたいリアクションであった。おそらくこれは、市担当者のご尽力によるものであろう。
- さて、当日は釜石市、大船渡市のグラウンドゴルフ協会の皆さんをはじめ、50名近くが集まり、プレーを楽しんだ。このような素晴らしいスタジアムでプレーできるとは。開催にあたり、釜石市当局をはじめ、スタジアムの皆さん、釜石市・大船渡市のグラウンドゴルフ協会の皆さんの他、ご参加いただいた皆さんに感謝を申し上げます。



## 「ポッチャ&卓球バレー体験教室」

- ◆期日：令和2年11月12日（火）
  - ◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）
  - ◆レポート：今回は仙北学童保育クラブの職員向けのポッチャ指導の依頼対応であった。学童保育からも依頼があるということはポッチャの認知度は相当高まっていると言える。また、今回はポッチャの他に卓球バレーも紹介した。画像のとおり、施設には卓球台はないと思われるので、2つの長机を使用した3対3バージョンでやってみた。これが意外と盛り上がり、リクエストに応じて用具を1セットお貸しすることにした。
- 元気なお子さんを相手にする職員さんの労力は相当なものであろう。ポッチャや卓球バレーが少しでも職員さんの負担を軽減することを期待したい。



▲①ポッチャはミニコートで実施。限られたスペースでも十分に楽しむことができる。②長机2本を使い、3対3で卓球バレーを体験した。



## 『花巻市スポーツ推進委員研修会・ボッチャ研修会』

◆期日：令和2年11月14日（土）  
 ◆会場：大迫ふるさとセンター（花巻市）  
 ◆レポート：この研修会は、花巻市スポーツ推進委員協議会の自主事業として開催。今回は、東京オリパラで注目を集めるボッチャ競技であった。ボッチャを活用して市民のスポーツ参加の促進を目的としている。数年前から当協会へのボッチャや卓球バレーの指導依頼が増えている。以前は障がい者団体や同事業所からの依頼が多かったが、最近はスポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブからの依頼が増えている。

さて、スポーツ推進委員の中には、ボッチャ経験者が多く、概ねルール等は理解していることが多い。そこで、今回のプログラムは地域におけるボッチャの活用方法という観点で研修を行った。参加者は40名弱。初めてボッチャをする方もいたので最初にルール説明、試合の流れをお話した。その後は、実際に大会形式で選手と審判を体験していただいた。今後は地域での交流大会の開催につながることを期待している。



▲①まずはコート作成から、②選手と審判に分かれて大会運営方法を学んだ

## 『Zoomを活用した車いすレーサー練習会』

◆期日：令和2年11月15日（日）  
 ◆会場：日居城野陸上競技練習会（花巻市）  
 ◆レポート：今回のリモート練習の対象は陸上競技に取組む小野寺萌恵選手。講師は千葉 祇暉（まさあき）氏である。千葉さんは、元パラリンピック選手の競技者として実績があるが、千葉さんのすごさはこれだけではない。指導者として様々な障がい程度に応じて、さらには選手の性格も含めた特徴に合わせたプログラムを提供できる。選手の反応を確認しながら適切な言葉かけ、スモールステップの指導を組み立てていく。このあたり、指導者のための研修にも取り入れたいところである。

今回導入したリモート指導は、十分に効果があると感じた。千葉さんに岩手まで足を運んでいただくのは、年間通しても数回が限界であるが、リモート講習であれば確実に指導機会は増やせるであろう。指導者不足の現状に対して新たな光明となるのかもしれない。



▲①講師の指示により選手を撮影。スマホの機動力は便利だ。②ストロークの基本動作を確認

## 岩手県高等学校体育学科 「三校合同研修会」

◆期日：令和2年11月18日（水）  
 ◆会場：盛岡南高等学校（盛岡市）  
 ◆レポート：三校とは、盛岡南高校、不来方高校、花巻南高校の体育科が対象である。今年度は、同研修会において初めての取組みとなるパラスポーツ体験のリクエストがあった。参加する生徒300名と聞いてかなり厳しいように感じたが、男子と女子の研修プログラムを別にして実施することになった。それでも男子は約200名。そこで、さらに男子を2つに分けてボッチャと卓球バレーを交互に体験していただくことにした。

開催準備にあたり、幹事校となった花巻南高等学校の体育科の先生方には大変お世話になりました。今回の企画を通して、普段あまり接することのない若い世代との交流の機会を作ることが大切であると感じました。また、ご協力いただいた卓球バレー指導員、障がい者スポーツ指導員の皆様にあらためて感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



▲①第1体育館で卓球バレーを9コートで実施、②第2体育館ではボッチャ体験を行った。

## 沿岸地区初開催！『初級障がい者スポーツ指導員養成講習会』

◆期日：令和2年11月21日（土）～23日（月）  
 ◆会場：陸前高田市総合交流センター・夢アリーナたかた  
 ◆レポート：本講習会は、岩手県委託事業として盛岡市で7月頃に開催している。今年度、2回目の実施となる同講習会は、沿岸地区では初開催である。コロナ禍の影響で直前の申込キャンセルなどがあり、受講者は6名と少なかった。受講にあたり感染症対策として、事前及び当日の体調チェック、会場からは毎日、名簿の提出を求められた。講習会場の入口2か所は開放し、サーキュレーターで換気にも配慮した。また、一部の講義はZoomによるリモートで行った。今回、コロナ禍の影響で受講者数は少なかったが、必ずニーズはあると思うので継続して開催したい。



▲①風船を使用し、スモールステップ指導・スポーツ導入の実践を行う、②ボッチャではスモールステップ指導は？③終了後に受講者6名、講師2名で記念撮影！

## 『ボッチャ体験教室』～軽米町教育委員会・ふれあい交流推進事業

- ◆期日：令和2年11月13日（金）、19日（木）、26日（木）
- ◆会場：晴山小学校、小軽米小学校、軽米小学校
- ◆レポート：軽米町教育委員会からの依頼により、11月13日は晴山小学校、11月19日は小軽米小学校、11月26日は軽米小学校の町内3つの小学校にてボッチャ体験教室を行いました。子どもたちの理解度は高く、ボッチャのルールをすぐに覚えゲームを楽しんでいました。オリパラ教育の目的の1つとして共生社会の推進があります。子どもたちに運動のできるできないに関わらずみんなで楽しめることを伝えさせていただきました。今後は、地域にお住まいの障がいのある方々や高齢者と一緒にボッチャを楽しんでいただけたら、うれしいです。元氣なあいさつから始まり、皆さんからパワーをもらいました。



▲11/13（金）晴山小学校での体験教室の様子

## 紫波町身障協「卓球バレー体験教室」

- ◆期日：令和2年11月27日（金）
- ◆会場：サンビレッジ紫波（紫波町）
- ◆レポート：紫波町身障協では高齢化により、スポーツへの参加率が下降しているとのこと。これは、紫波町だけではなく、すべての市町村も同じ状況にあります。元々の障がいに高齢化が加わり、スポーツへの参加は難しい状況となっている考えられます。しかし、単に高齢化・重度化の問題ではなく、選択できるスポーツがないことが問題ではないかと当協会は考えます。この問題を解決する可能性を秘めているのが卓球バレーです。



▲会員10名程度が参加しました。指導は1級審判の池田豊さんをお願いしました。

## 『第2回卓球バレー指導者養成講習会&審判スキルアップ講習会』

- ◆期日：令和2年11月29日（日）
- ◆会場：ふれあいランド岩手（盛岡市）
- ◆レポート：この講習会により、日本卓球バレー連盟公認指導者の資格を取得できます。岩手の講習では、資格取得に加えて、チーム練習と審判練習をセットで行うことが多いです。なお、今回は、10歳の受講者がおりました。審判のハンドシグナルも学び、実技もクリア。見事に指導者資格を取得しました。おそらく全国でも最年少の指導者となると思います。10歳は若すぎ？かもしれませんが、今後も10代～20代の指導者も養成していきたいと思います。ご協力いただいた審判員の皆さん、参加チームの皆さん、ありがとうございました！



## 『発達障がい児童向けの運動教室』に参加しました！

- ◆期日：令和2年11月29日（日）
- ◆会場：北上市勤労者体育センター（北上市）
- ◆レポート：「いわてグルージャ盛岡」は、2019年より、県内33市町村、すべてをホームタウンとして活動しています。これに伴い、名称も変更されました。また、今回の運動教室は「SDGsの取組み」と位置づけ実施されています。SDGsはあまり聞きなれない言葉かもしれませんが、SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）は、2015年の国連サミットで採択された「誰一人取り残さない（すべての人が幸福に）」を掲げる世界の共通目標です。ここに、プロサッカーチームとして着目していることは、1つの企業としても素晴らしい取組みであると思います。



この事業に岩手 FID サッカーチームが参加しました。チームを率いる阿部史憲監督のコメントを要約して紹介します。「グルージャの選手が来ると選手の表情が変わり、アイドルを見るようにうれしそうだった。参加した選手は夢中になってボールを追いかけ、見ている保護者やボランティアからは応援の声が絶えないとても良い雰囲気でした。また、いつもやっている動きなのだが、本物の J リーガーと触れることで、普段とは違うモチベーションとなり、何か選手たちが上手になっているように感じました。これを機会に定期的にこのような交流事業ができれば、障がい者スポーツもますます盛り上がっていくように思います。」

## 掲 示 板

-BBS-

事業詳細や活動団体の紹介、様々なニュースやおすすめのイベント情報等をピックアップ！皆様からの情報もお待ちしています！

### 参加者募集！ユニバーサルスポーツ体験会を開催！

- 主催：一関市障がい者スポーツ協会
- 日時：1/13（水）10:00～12:00
- 会場：一関市総合体育館
- 内容：卓球バレー、フライングディスク、スポーツ吹矢、ボッチャ等
- お問合せ：一関市障がい者スポーツ協会担当：小野 幹雄（090-4630-7120）



### 受講者募集！日本ボッチャ協会公認サポーター養成講習会

- 期日：1/16（土）または1/17（日）  
※両日も同じ内容です。ご都合に合わせてどちらかの日程にご参加ください
- 会場：東口体育館（一関市）
- 対象：スポーツ推進委員、総合型SC関係者、障がい者スポーツ指導員、教職員等
- 講師：日本ボッチャ協会強化指導部長 村上 光輝 氏



講師はボッチャ日本代表チームを率いる村上さんです！

### 参加者募集！ユニバーサルスポーツ体験・交流会を開催！

- 主催：NPO法人前沢いきいきスポーツクラブ
- 日時：1/16（土）9:30～11:30
- 会場：前沢B&G海洋センター
- 種目：ボッチャ・卓球バレー・シャッフルボード・スマイルボウリング
- 定員：先着 30名



### 受講者募集！中級障がい者スポーツ指導員養成講習会

- 期日：以下、8日間  
前期：1/23（土）、24（日）、30（土）、31（日）  
後期：3/13（土）、14（日）、20（土）、21（日）
- 会場：ふれあいランド岩手
- 対象：以下のとおり  
初級障がい者スポーツ指導員資格取得後、2年経過、80時間以上の活動実績のある方
- 受講料：5,000円
- フォローアップ研修について  
→全日程をフォローアップ研修対象講座といたします。受講料無料です。関心のある科目を選択し、お申込ください。

### 受講者募集！卓球バレー指導者養成講習会を開催します！

- 主催：NPO法人前沢いきいきスポーツクラブ
- 日時：2/6（土）9:00～12:00
- 会場：前沢B&G海洋センター
- 参加料：無料
- その他：日本卓球バレー連盟の公認指導者の認定料1,000円（希望者のみ）



### 事前告知！

#### ☆障がい者スポーツ特別研修会

- 期日：2/21（日）
- 会場：ふれあいランド岩手
- ゲスト講師：  
マセゾン美季さん（リモート参加）他

#### ☆障がい者スキー交流会

- 期日：3/6（土）～7（日）
- 会場：安比高原スキー場

#### ☆スポーツ交流事業について

- 2月以降にグラウンドゴルフ、ゲートボール、ボウリング等を実施予定

※詳細は後日HPにアップいたします。

## 岩泉ヨーグルトを食べてパラリンピックを目指そう！

### 令和2年度岩泉ホールディングススポーツ支援事業

この事業により、岩泉ホールディングス株式会社の人気商品「岩泉ヨーグルト」を選手の居住地まで定期的に配達していただけるという。本当にうらやましいかぎりである。また、県外在住のアスリートにとっては、ふるさとの温もりを感じる機会にもなるであろう。今年度より、当協会所属以下5名の選手が支援対象選手として認定を受けました。

- 陸上短距離・佐藤 鮎世（前沢明峰支援学校高等部1年）
- 陸上短距離・中里 巴（ASBee）
- 陸上車いす・小野寺 萌恵（盛岡となん支援学校高等部2年）
- 陸上短距離・昆野 朔（岩手農協チキンフーズ八幡平工場）
- デフバスケットボール・高山 和也（岩手高等学校2年）

中里 巴選手(左)と同社代表取締役社長 山下欽也氏(右)→

感謝



↑令和2年12月22日(火)、岩手県体育協会会館において、令和2年度岩泉ホールディングススポーツ選手支援事業認定式において当協会所属の5名の選手に認定証が渡されました！

## 新 規 会 員 紹 介

新たにご入会いただきました会員を紹介いたします。

株式会社畠山冷機工業所 様（正会員）

一般社団法人コ・イノベーション研究所 様（正会員）

株式会社エヅリコ・エンジニアリング 様（賛助会員）

株式会社ベルジョイス 様（賛助会員）

アーク株式会社 様（賛助会員）

今後とも当協会のパートナーとしてご支援をお願いいたします！



## 会員紹介 -Our Partners-



いつもあたたかいご支援をいただきありがとうございます！

(令和2年12月28日現在 敬称略・五十音順)

### 賛助会員一覧 (団体)

アーク (株)	(株) アイエムアイ	(株) アイシーエス	(株) IBC 岩手放送
(株) 青紀土木	(一社)岩手県医師会	(一社)岩手県建設業協会	岩手県産 (株)
岩手スポーツ用品販売 (株)	岩手県都市ガス協会	(一社)岩手県理学療法士会	いわて生活協同組合
岩手電工 (株)	岩手電力 (株)	岩手トヨペット (株)	(株) 岩手日報社
岩手雪運 (株)	岩手リオン補聴器センター	(株) ヴィクトリア ネクサスカンパニー	江刺岩手ライオンズクラブ
(株) エツコ・エンジニアリング	(株) 遠忠	(株) カガヤ	(株) 川徳
(株) 菊地建設	(株) 北日本銀行	(株) 久慈設計	小岩金網 (株)
(株) 小林精機	(株) 志百家	(株) 寿広	白金運輸 (株)
(有) タイガースポーツ	(株) テレビ岩手	(株) 中野製麺	(株) 日盛ハウジング
日本身体障害者団体連合会東北事業所	(株) 長谷川建設	府金製粉 (株)	(株) 藤沢体育堂
(株) ヘルジョイス	みちのくコカ・コーラボトリング (株)	宮城建設 (株)	(株) 宮澤商店
名鉄観光サービス (株) 盛岡支店	(株) 明和土木	盛岡商工会議所	(株) ヤマイチ
(株) やよいデライト	(株) ユニバース	菱和建设 (株)	

### 賛助会員一覧 (個人)

白畑 由貴子	菅 里美	平藤 淳	藤村 誠	堀川 裕二
--------	------	------	------	-------

### バナー広告掲載中！

賛助会員のバナー広告は無料で掲載しております。現在、以下33団体のバナー広告を掲載中。この他、掲載依頼がありましたら随時、当協会HPにアップいたします。詳細につきましてはお問合せ下さい。


### 正会員一覧 (団体)

岩手県 ID バasketボール連盟	(一社)岩手県作業療法士会	(社福)岩手県視覚障害者福祉協会
(社福)岩手県社会福祉協議会	(社福)岩手県社会福祉事業団	(社福)岩手県身体障害者福祉協会
(NPO)岩手県精神保健福祉連合会	岩手県知的障がい者サッカー連盟	岩手県知的障害者ソフトボール協会いわてスマイリーズ
岩手県特別支援学校連絡協議会	岩手チアスキークラブ・イーハトーブ	(一社)コ・イノベーション研究所
サークル「ゆうの会」	(社福)自立更生会	全国脊髄損傷者連合会岩手県支部
(社福)手をつなぐ	(株) トラスト保険	ドルフィンズ岩手
(株) 畠山冷機工業所	ラッセル岩手	

### 正会員一覧 (個人)

阿部 史憲	伊藤 昇	井上 勝巳	井上 君之	今宮 正彦	岩淵 典仁	上村 弥
及川 貞之	小江 巧	小原 敏弘	軽石 義則	菊池 幸子	小坂 亜純	佐々木 君夫
佐々木 茂	笹木 正	佐々木 満	佐藤 勝士	佐藤 慎二	佐藤 隆秀	佐藤 佑哉
篠原 政良	白藤 友一	菅原 幸二	高橋 修	中野 正紀	野辺地 省吉	藤井 公博
三浦 拓朗	民部田 誠	横沢 高德				

### ◆会員の募集について◆

「Sports For All」の考えに基づき、障がいのある方が一人でも多く、いつでも気軽にスポーツに参加できるように取組んでまいります。皆様のご支援、ご協力をお願いいたします！

区分	金額
賛助会員	個人 1口 1,000円
	団体 1口 10,000円
正会員	個人 1口 1,000円
	団体 1口 5,000円

\*\*\* 問合せ先 \*\*\*  
〒020-0831 盛岡市三本柳 8-1-3  
(一社) 岩手県障がい者スポーツ協会  
TEL 019-637-5055  
FAX 019-637-7626  
E-mail: [info@iwate-adaptive.or.jp](mailto:info@iwate-adaptive.or.jp)  
<https://www.iwate-adaptive.or.jp/>